

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

**自然の中で夢中で遊び**  
**互いに認め合いながら心豊かに生きる城北畑っ子の育成**  
**～だいすきじぶん だいすきともだち だいすき城北畑～**

2 今年度の重点目標

- (1)一人一人の内面理解に努め、良さを認め、発達の特性に応じた指導と支援に努める。
- (2)自ら遊ぼう、活動しようとする意欲・態度を大切にしながら、友だちとの協同性を培う。
- (3)身近な自然を遊びや制作などに取り入れ、豊かな感性や表現力を育てる。
- (4)家庭・地域社会及び小学校との連携を密にし、円滑な接続を組織的に行う。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
健康	・健康で安全な暮らしについて、子ども自身が考え実践しようとする事ができるように取り組めたか。	A	・歯みがき教室、幼小合同の交通安全教室や避難訓練、防災学習等を通して、健康や安全のために大切な行動や習慣について実践的に学び、健康で安全に生活しようとする意欲を高めた。 ・芝生園庭での遊びはもちろんのこと、コマ回しや筋肉トレーニングのような遊びなども主体的に取組ような仕掛けを行い、様々な身体機能を育む活動ができた。 ・親子給食を実施し、保護者の理解を得るとともに家庭との連携を図った。園庭の果樹や園児が植えた野菜の生長を観察したり収穫したりする活動を通して、食材や食への関心を高めた。
	・いろいろな遊びを通して、身体諸機能の調和的な発達を促す。自分の身体を十分に動かし、進んで運動しようとする態度を養う。	A	
	・食育を推進し、食の意義についての理解を促し、食事のマナーを身につけるよう取り組めたか。	A	
環境	・安全点検を確実にを行い、園舎・園庭の環境整備に努めたか。	B	・幼小の教職員合同で定例安全点検を確実にを行い、修繕等が必要な箇所については迅速に対応したり、必要に応じて関係機関に相談したりして環境整備に努めた。園庭の芝生について、関係機関等と相談し協力を得ながら管理維持に努めている。 ・日常的に園庭・園周辺の豊かな自然に触れたり、遊びや制作に取り入れて活動したりする機会を積極的に設けた。小学生や高校生との交流時にも取り入れた。
	・園児が自然に触れたり、自然物を用いた遊びや制作等を行ったりする機会を設けることができたか。	A	

家庭・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信やHP掲載を通して、園の様子や教育活動を家庭・地域に発信し、理解を得るよう努めたか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校園だより、学校園HPによって、園の様子に加えて幼小のつながりを知っていただくことができている。さらに、ドキュメンテーションによる啓発を充実することができた。</li> </ul>
------------	---	---	---

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢教育は難しい面もあるが、園児たちは楽しく遊び、活発に生活している様子が見られる。</li> <li>・身近な自然を取り入れた遊びや制作、小学生や高校生との交流等、環境面での利点を活かしている。</li> </ul>
--

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日楽しく言っているので、安心している。（保護者）</li> <li>・とても楽しく登園している。地域を生かした外遊びや地域との交流にも積極的に取り組んでいただいている。（学校運営協議会委員）</li> <li>・遊びや活動のスペースが十分にあること、日々の生活や発表会等におけるひとりひとりの活躍の場面が多くあることが、大きな成長につながっている。</li> </ul>
--

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で安全な暮らしについて、子ども自身が考え実践しようとするように取り組めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小合同の交通安全教室や避難訓練などを通して、安全な行動について学ぶ機会が設けられている。今後も、いろいろな方法で家庭や地域と連携して取り組んでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を推進し、食の意義についての理解を促し、食事のマナーを身につけるよう取り組めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児全員が初めての園生活を送っている中で、給食に慣れるのは大変なことだと思われる。親子給食や栄養教諭からの講話を行い、食育の推進や食の意義についての理解を深める取り組みがされている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が自然に触れたり、自然物を用いた遊びや制作等を行ったりする機会を設けることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の良さを活かして、自然に触れて、自然物を活用した取り組みや数多くされている。小学生や高校生との交流を継続するとともに、新たに地域へ出かけ体験（柿もぎ、おたまじゃくし取り）を取り入れて、充実が図られている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信やHP掲載を通して、園の様子や教育活動を家庭・地域に発信し、理解を得るよう努めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域への発信により、園の様子や幼小のつながりを伝えている。保護者からの要望に合ったSNSでの日常的な発信は難しいと考える。また、いつでも参観に来ていただくことも園児の発達にとっては家庭と社会（園）とのすみわけを考えると必要な時に絞る方が望ましいと考える。</li> </ul>